

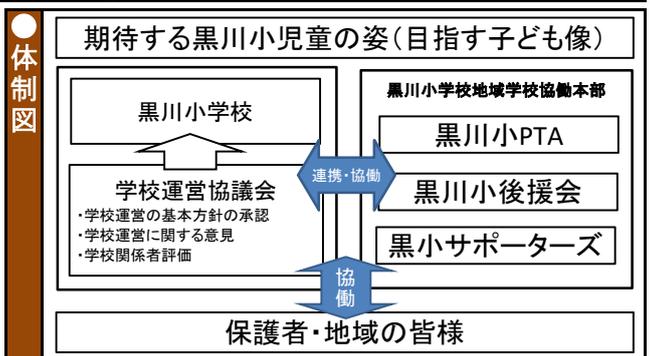
こんな活動です

思いやりをもって未来を切り拓く黒川っ子の育成を目指して

新潟県胎内市	●活動名	●関係する学校名
	黒川小学校地域学校協働本部	胎内市立黒川小学校

協働活動開始年度	平成 28 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	11 学級	のべ児童・生徒数	227 人
活動区分	学校支援活動	—		地域人材育成	—		
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	—			
	1人		5人	—			
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無		
	平成30年4月1日設置		68人		—		
参考URL	http://tainai-ed.nxc.jp/kurokawa-es/						

●連絡先	胎内市立黒川小学校	☎ 0254-47-2405
------	-----------	----------------



●活動の概要・経緯

学校支援ボランティア組織として「黒小サポーターズ」の発足を契機に、学校と保護者・地域が一体となって教育活動を進めていく気風が育まれてきた地域である。黒小サポーターズとともに、黒川小後援会、黒川小PTAが黒川小学校地域学校協働本部として、「ふるさとを愛し、大切に作る黒川っ子」等、目指す子供像を共有し、学校と地域が連携・協働し、地域総がかりで取組を進めてきた。さらに、市ではじめてのコミュニティ・スクールの指定を受け、学校運営協議会と地域学校協働本部とが一体となり「黒川のよさを発信し、体感する」「絆づくり」等を中核として、思いやりの心をもって、未来を切り拓く子供たちの育成を目指し取組を進めている。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ・地域と学校の密接な関わり・・・「黒小サポーターズ」を中心に、学習支援、環境整備、あいさつ運動等で、日常的に来校し、子供たちと親しい関係を築いている。
- ・黒川小学校地域学校協働本部及び学校運営協議会による活動・・・地域との合同防災訓練、ようこそ先輩授業、親子ふれ合い登山等
- ・黒川小学校地域学校協働本部(学校運営協議会)の多彩な顔ぶれ・・・区長、PTA役員、地域おこし協力隊、青年会議所メンバー等、それぞれの視点からアイデアを提供している。
- ・学校評価とリンクした課題の共有・・・学校評価で浮かび上がった「思いやりの育成」をテーマとして共有し、各活動で「思いやりが見られた具体的な姿」を観点に活動の評価を行っている。

【実施に当たっての工夫】

キーワードは「巻き込む」。一部の人々による活動にとどまらず、多くの人々が参加できる活動を常に考え、関係機関と連携して事業を進めている。「親子ふれあい登山」では、登山道入り口神社にある文化財を地元の方から説明してもらったり、校区外の方にも参加を呼び掛けたりしてきた。また、「ようこそ先輩」授業として、卒業生である声楽家を招き、ミニコンサートを開いた。「地域との合同防災訓練」では普段学校に足を運ぶことのない人々と子供が一堂に会する機会となり、交流を深めることができた。様々な人々とかかわる機会をもつことで、共有課題である「思いやりの育成」の達成に向けた活動を積み重ねている。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

学校支援活動や放課後子ども支援活動等の活動ごとに、参加者アンケート等をもとに成果と課題を洗い出し、黒川小学校地域学校協働本部及び学校運営協議会で共有している。視点をしぼりこみ、活動ごとに評価を行うことで、よりよい活動となるようにという意識が高まり、子供たちの姿から「思いやりある行動が見られた」「地域のよさを見付けることができていた」といった手応えを感じている。活動を通じてできた様々な人々とのかかわりやネットワークが、思いやりの育成や郷土愛を育み、「黒川に生まれ育ってよかった」という思いをベースに未来へはばたく人材育成につながることを期待する風土が生まれてきている。

●その他

学校と地域の人々が協働して、学校や地域をよりよくする様々な活動を数多く行っている。多くの人々とのかかわりを通して、子供たちは地域の一員としての自覚を深めている。



水泳プール清掃を行うと、子供たちと一緒に



地域との合同防災訓練で避難所を確かめる子供